



BYOD に向けて

2月15日（月）

既に発表されているように、全国的にICT教育が推進されています。茨城県の県立高校においても、来年度からBYODが本格的に導入されます。本校にも、全ての教室にアクセスポイントが設置されてWiFi環境が整いました。これによって生徒個人のパソコン・タブレット・スマホを用いた授業が、これまでよりも活発になることが予想されます。

下妻一高では、高いレベルでの進路実現を掲げて、充実した授業を行うとともに、ひとりひとりのニーズに合った学習環境（平常課外、ハイレベル課外、土曜補習等）を整えることで、堅実な実績をあげてきました。本校の先生方が行う対面による指導は、生徒個々の学力を伸ばしてきたことは大いに誇れるところです。これに加えて最近では、全生徒に向けて、課題や情報伝達のためにclassiを用いるなどの取り組みをしていたため、休校期間の対応にも利用できました。また、先生方が多くの学習用動画を作成して生徒の学習を促してきました。今後は、BYODとの相乗効果でさらに授業に対する興味関心が高まり、学力も充実することを期待します。

※【 Bring Your Own Device 】 BYODとは、生徒が学校に私物の情報端末（パソコン・タブレット・スマホなど）を持ち込んで授業で利用すること。

